

4/15 の国際宇宙ステーション通過(3)

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

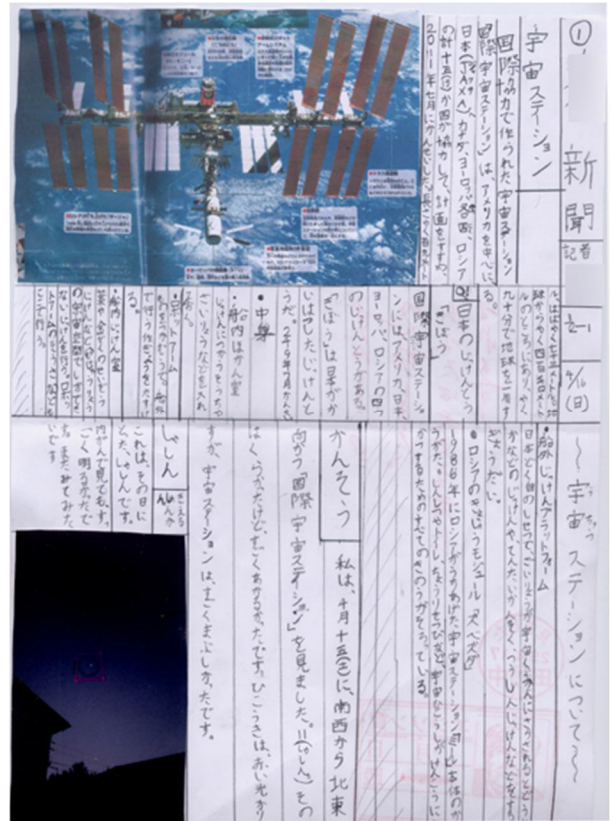
4月15日の国際宇宙ステーションは、日本列島を関東地方付近で横断し、太平洋に出たところで、姿を消した。その様子は、下の写真にも写っていた。



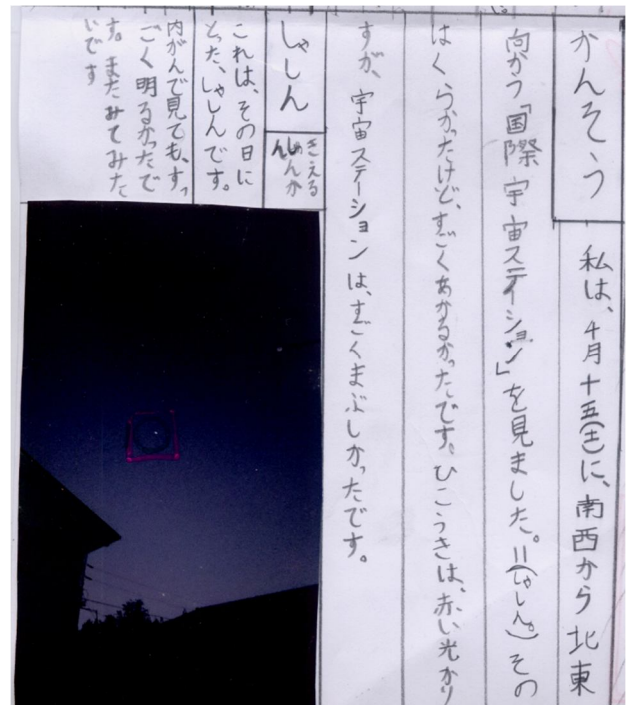
南東の森に沈む前に、急に光度が落ち、消えてしまった。これは墜落したわけではなく、太陽光が当たらなくなったのだ。つまり、地球の影に入ったわけで、天文学的には「食」が起きたことになる。地上よりも1時間遅れてISSにも夜が訪れたのだ。



今回のISSの通過は、3年生の子どもたちにも宣伝しておいた。東京も晴れていたなので、多くの子どもが観望に成功し、絵だよりや理科帳にその様子を記録していた。



特に宿題にもしていないのに、さっそくこんなに立派な「ISS新聞」を作ってきた娘もいた。単に観察するだけでなく、興味を持ったISSについて、徹底的に調べているところがすばらしい。写真撮影にも成功していて、左下に貼付されていた。



遠い宇宙空間に浮かぶISSを、自分の肉眼で観察できた感動がよくわかる。教科書とは関係なくとも、教師はさまざまな情報にアンテナを巡らし、子どもたちに役立つ情報発信を続けてゆきたいと思う。